

しあわせ南流

南流山地区社会福祉協議会
広報部会事務局
会長 市川 誠
南流山 8-6-1-1-705
☎ 7140-7152

「ひきこもり」にご理解を

ひきこもりは「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせず、6ヶ月以上続けて自宅にひきこもっている状態」とされます。内閣府が2009年度実施の『若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査)』によれば、準ひきこもりとされる「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する人」を加えると約70万人と推計されます。この調査は15～39歳が対象のため、[町田市が2012年度実施の20～64歳を対象とした調査結果](#)の「40代以上が3割超」を加味して日本の人口に敷衍すると140人に1人となります。これは南流山小学校区の人口(2015年10月現在13,741人)に対して約100名に相当するものとなります。

内閣府の上記の調査でひきこもりとなった原因に「職場になじめなかった」、「病気」、「就職活動の不調」、「不登校*」、「人間関係」等様々なものがあげられます。『[ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン](#)』(厚生労働科学研究こころの健康科学研究事業)によれば精神障害や発達障害の関係、ひきこもりの中でうつ病を発症する事例も示されます。そこでひきこもりとなった場合、早期の関係機関への相談が望ましいのですが、ひきこもりの方は相談を避ける傾向にあり、家族等も相談支援を知ることが必要となります。
*：[文部科学省の調査\(2013年\)](#)によれば不登校児童生徒数は約12万人とされます。

■ 相談支援について

2009年に厚生労働省の「[ひきこもり対策推進事業](#)」が創設され、千葉県では「千葉県ひきこもり地域支援センター」が設置されました。このセンターは「原則として18歳以上」を対象としています。この年齢以下の方に対しては「千葉県子どもと親のサポートセンター」が相談の窓口となります。

[千葉県ひきこもり地域支援センター](#)

相談電話番号 043-209-2223

相談日時：月～金曜日 9時30分～16時30分
ただし、第1金曜日は13時～16時30分

[千葉県子どもと親のサポートセンター](#)(24時間対応)

相談専用フリーダイヤル 0120-415-446

児童生徒(小～高校生の年齢迄)・保護者等から寄せられる不登校やいじめ等の多様な相談に対応

不登校とひきこもりが関係する場合がありますが、流山市の各校での相談に加え、[流山市教育相談室](#)(TEL 04-7150-8390；相談時間午前9時～午後4時30分)も不登校の相談に対応します。

国の「障害者やその保護者、介護者などからの相談に応じて必要な情報の提供や、虐待の防止、早期発見など障害者の権利擁護のために必要な援助などに結び付ける[相談支援事業](#)」への対応が流山市で取り込まれ、南流山地域では相談支援事業所「PHARE(ファール)」があります。ひきこもり、人間関係がうまくできず仕事が継続できない、ひとめが気になって電車に乗れない、子育ての不安やイライラが強いなどの悩みをお持ちの方やご家族の相談に対応し、相談内容に応じて流山市、南部地域包括支援センター等と連携して支援等が行われます。

医療法人社団 宙麦会

[相談支援事業所「PHARE\(ファール\)」](#)

流山市南流山1-14-8 ロジカル南流山101

Tel: 04-7136-2933, Fax: 04-7136-2644

E-mail: welcome-phare@theia.ocn.ne.jp

☆☆☆

勉強会『発達障害とひきこもり』

開催日：3月10日(木) 午後7時～8時

(受付は午後6時30分より；事前申込み不要)

会場：南流山自治会館

主催：南流山地区社会福祉協議会

概要：医療法人社団 宙麦会 ひだクリニックの院長 肥田裕久先生を講師としてお招きし、発達障害やひきこもりなどについて学び、相談支援事業所「PHARE」の紹介、そしてひだクリニックで取り組まれる障害者の就労支援事業を紹介します。

小学生の交通安全にご協力を!

南流山小学校では登下校時、PTAや地域の皆様のご協力でご協力で交差点等での児童の交通安全がはかられています。しかし、地域の変化で見守りの必要な交差点が増え、交通安全に取り組まれている方のご負担が増えています。そこで登校時(交差点などの場所により異なりますが、午前7時30分頃から午前7時50分前後が目安)、児童の交通安全にご協力いただける方を募集しています。ご協力いただける方は市のボランティア保険の手続があるため、南流山小学校(TEL 04-7159-2521)の教頭先生までご連絡ください。

『いきいきシニアの会』（10月18日）の開催報告

南流山小学校区にお住まいの70歳以上の方をお招きし、地域の皆さんによる演奏や演芸、昼食等をお楽しみいただく当地区社協主催・流山市後援の「いきいきシニアの会」が10月18日に南流山センターで開催されました。そして招待状をお届けした1,267名の皆様から314名のご参加をいただきました。

会は式典の部として当地区社協の市川会長の挨拶、白寿・米寿・喜寿を迎えられた方の代表者へのお祝い贈呈で始まりました。

演芸の部は南流山中学校吹奏楽部の皆さんに「スーパーカリフラジリスティックエクスペリアリドーシャス」などの演奏で始まりました。続いて南流山幼稚園の園児の皆さんに踊りを披露していただきました。会場の皆さん、園児の皆さんの元気な姿に目を細められていました。次に南流山小学校音楽部4年生の皆さんに「カントリーロード」等を演奏していただきました。

本会では毎年、流山市南部地域包括支援センターに

出張相談していただいています。この包括支援センターの皆さんに舞台に上がっていただき、健康の話と体操を指導していただきました。そして公務で忙しい中、ご来場の井崎市長にご挨拶いただきました。

その後、南流山寿楽会の黒須弓子さんに「さのさ船」、成田貞夫さんに「王将」の舞踊を披露していただきました。続いて木マミーズの皆さんに「秋田おぼこ」などの民謡を披露していただきました。そして鈴木利江さんに沖縄踊り「ゼイ」を披露していただきました。

昼食には、ボランティアの皆さんの調理による具沢山の汁物と一緒に弁当を楽しんでいただきました。

カラオケの時間の後、会場全員で「流山市民の歌」を合唱し、当地区社協の塩谷副会長の挨拶で会を終えました。

会の運営にご協力いただいた自治会、ボランティア組織などの皆様、10名の中学生ボランティア、12名の小学生ボランティアの皆様感謝いたします。



南流山中学校吹奏楽部の演奏と合唱



南流山幼稚園の踊り



南流山小学校の音楽部の演奏



南部地域包括支援センターの健康の話・体操



木マミーズの民謡演奏



黒須さん、成田さん(南流山寿楽会)の舞踊

鈴木さんの舞踊